

2026年度 第5回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2026年8月27日（木）

場 所 豊岡市役所竹野庁舎1階 大会議室

所 在 地 豊岡市竹野町竹野1585番地の1

開会時間 午後2時00分

閉会時間 午後2時40分

○ 出席委員の氏名

教育長	能登 琢也
委員（教育長職務代理者）	升田 敏行
委員	鈴木 千佳
委員	島崎 栄子
委員	小谷 士郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	永井 義久
	教育次長補佐兼幼児育成課長	向原 芳江
	教育総務課長	川崎 智朗
	教育施設課長	谷口 祥規
	教育施設課参事	加藤 哲夫
	学校教育課長	川島 秀博
	教育総務課長補佐	足立 美由紀
	教育総務課教育総務係長	中島 香

事務局以外 こども支援課こども支援センター副所長 鳥居 保

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

鈴木 千佳 委員

第2 前回の会議録の承認

7月22日（水）開催 第4回定例会

第3 教育長の報告

第4 議事

- 議案第18号 令和8年度9月補正（第3号）教育関係予算案について
- 議案第19号 豊岡市立学校職員の事務処理誤り等の公表基準に関する要綱制定について
- 議案第20号 豊岡市社会教育・生涯学習人材バンク運営事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について
- 報告第19号 但東地域小中一貫校等開設準備委員会委員の委嘱について
- 報告第20号 寄附物件の受納について

第5 委員活動報告

開会 午後2時00分

（教育長）

ただ今から、2026年度第5回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

（教育長）

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は鈴木委員にお願いしたいと思いますのでよろしくをお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

（教育長）

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。7月22日に開催しました第4回定例教育委員会の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点、修正などございませんでしょうか。

（委員）

なし

（教育長）

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

（教育長）

日程第3 教育長の報告です。前回7月22日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

8月3日の教育フォーラムに委員の皆さん参加していただきましてありがとうございました。

前教育長とともに体を張って演技をしました。ワークショップ体験等も好評で、先生方の感想を見ますと、腑に落ちたという声がたくさんあって、理解を深められたのではないかなと思っております。

続いて8月17日の第2回但馬教育未来会議についてです。これは芸術文化観光専門職大学で、但馬3市2町の教育長と但馬教育事務所長、それから大学の平田学長、副学長、担当教員らで開催しております。但馬地域における教育のあり方について議論する場ということで、1回目は2月に行われています。私は今回からですけども、2回目ということで参加をしました。年に3回から4回されるような予定になっております。但馬唯一の県立大学として、地域の教育の未来の発展に、主体的に責任を持って貢献していきたいと大学も言われていまして、非常にありがたいことだなと思っております。今回は教職員研修等で大学との連携ができないかというところで、現在、具体的な検討を進めております。それから、部活動の地域展開でも、学生の強みを生かせる分野で、特にダンスやミュージカル、音楽、サークル等たくさんありますので、そういったところで協力ができないかということをお願いしております。また3回目が終わりましたら報告したいと思います。

最後に、8月23日の日曜日に東井義雄教育塾の講演会に参加させていただきました。升田委員に大変お世話になりました。私は2名の大学教授の先生方とパネルディスカッションに参加させていただきました。それに向けて、個人の学びとして、もう一度お盆休みに東井義雄先生の「村を育てる学力」を読み返しまして、じっくり読書しました。久しぶりに改めて読み返すと、これは校長になってから読み返すと本当に教育観が磨かれるような1冊だなということを思いましたので、昨日の校園長会でも校長先生方にぜひもう一度読み返してくださいという話をしたところです。

【日程 第4 議事】

(教育長)

日程第4 議事に移ります。

議案第18号は、この後、議会に議案として提出され、議決を経るべき事項となりますので、豊岡市教育委員会会議規則第17条により、非公開としたいと考えますが、いかがでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

委員の承認を得ましたので、議案第18号は非公開といたします。本日は、傍聴人がありませんので、このまま会議を進めます。

○ 議案第18号 令和8年度9月補正（第3号）教育関係予算案について

《 令和8年度9月補正（第3号）教育関係予算案について、関係課長が説明し、審議の結果、異議なしと承認された 》

(教育長)

以上で非公開議案は終了しました。本日は、傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま会議を進めます。

(教育長)

続きまして、議案第19号 豊岡市立学校職員の事務処理誤り等の公表基準に関する要綱制定について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第19号 豊岡市立学校職員の事務処理誤り等の公表基準に関する要綱制定について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市立学校職員の事務処理誤り等の公表基準に関する要綱制定について、資料に基づき説明する。

本要綱は、市教育行政の透明性の確保と公表に係る事務の効率化を図るため、豊岡市立学校に勤務する県費負担教職員の事務処理誤り等が発生した場合の公表基準に関し、必要な事項を定めるものである。市職員の事務処理誤り等の公表基準についてはすでに要綱が定められており、市の要綱に準ずる形での要綱・様式となっている。なお、本要綱は令和8年10月1日から施行することとしており、本要綱の制定によって、学校で事務処理誤り等が発生した際の対応について変更が生じることはない。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

特に学校現場に大きな影響はないということですね。

(教育総務課長)

はい、これまで通りの対応ということです。どちらかといったら、事務の効率化を図りたいというものです。

(教育長)

それでは、議案第19号豊岡市立学校職員の事務処理誤り等の公表基準に関する要綱制定について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、議案第 19 号について、原案のとおり可決します。

(教育長)

続きまして、議案第20号 豊岡市社会教育・生涯学習人材バンク運営事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第20号 豊岡市社会教育・生涯学習人材バンク運営事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市社会教育・生涯学習人材バンク運営事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について、資料に基づき説明する。

本要綱は、今年度から取り組んでいる「よりみち学校」に係るもので、講師登録者を幅広く受け入れることにより、事業の活性化を図ろうとするものである。人材バンクに登録できる者として、「市内に居住、通勤若しくは通学するおおむね 18 歳以上の個人又は市内に活動拠点を有する団体」としているものを、「原則として市内に居住、通勤若しくは通学する個人又は市内に活動拠点を有する団体」に改めるものである。

なお、本要綱は令和 8 年 9 月 1 日から施行することとしている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(小谷委員)

内容について異論はございません。確認をさせてください。この事業は、今年度からというふうにお聞きしましたが、この変更の内容については要望があったのか、それとも思ったよりも人数が少なかったため、対象を広げたのか。正直どちらなのでしょう。

(教育総務課長)

どちらかといえば、思ったよりもなかなか伸び悩んでいるというのが正直なところです。当初は 40 人を想定していたんですけれども、現在のホームページを見ていただきますと、先生として登録できているのが 12 人というふうな状況でございまして、まだまだ目標にほど遠いような状況ですので、できるだけ多くの方に市に何らかの形で関わっていきたいという方についても、どんどん受け入れができたならということで今回改正をさせていただこうと思っています。

(小谷委員)

ありがとうございます。内容自体はすごくいいことだなというふうに思いますので、ぜひこういったことを利用される方が増えればいいなと思います。

(教育長)

周知の仕方とか、そのあたりの改善できるところはしていただいたらさらによいのかなと思います。その他、ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(教育長)

それでは、議案第 20 号豊岡市社会教育・生涯学習人材バンク運営事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、議案第 20 号について、原案のとおり可決します。

(教育長)

続きまして、議事（報告）に移ります。

報告第 19 号 但東地域小中一貫校等開設準備委員会委員の委嘱について、教育施設課長の説明をお願いします。

○ 報告第19号 但東地域小中一貫校等開設準備委員会委員の委嘱について

《教育施設課長の説明概要》

但東地域小中一貫校等開設準備委員会委員の委嘱について、資料に基づき説明する。

但東地域小中一貫校等開設準備委員会設置要綱に基づき、20 名の方に委員を委嘱した。

去る 8 月 18 日に但東振興局において、第 1 回開設準備委員会を開催し、委員長には森井正伸さん、副委員長には能勢明宏さんが選任された。

(教育長)

開設準備委員会だよりを作成しておりまして、住民の方に回覧をして周知し、地域住民の意見等も反映しながら進めていくということになっております。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、但東地域小中一貫校等開設準備委員会委員の委嘱を行ったことをご承知おきください。

(教育長)

続きまして、報告第 20 号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第20号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体3件、個人2件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程 第5 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程 第5 委員活動報告 に移ります。活動で感じられたことで、特に伝えたいことがありましたら、お願いします。

(升田委員)

夏休み中ですね、教育フォーラムに参加させていただき、教育長出演の芝居を見させていただきました。もう一度、このような事業がどういった意味で、どうなされてきたのかということで、本当にわかりやすい説明だったなど。これから何回もしていく必要があるかなという気がしました。あそこでお聞きになっている先生方以外にも、保護者の方も見られたら一番よかったんですが3名ほど来られているという話でしたかね。保護者の方は、今はもう学校に来ていただいて、見ていただいているというところも多いと思いますので、今後も続けていただけたらなと思います。

その他いっぱいあったんですけどその中で1つ、中学校生徒会リーダー研修会にも参加させていただきました。これで何回目かになるんですけども、当初の中学生と比べてですね、だんだんやっぱり自分たちでやろうとしている態度みたいなのが見えてきたかなと。一番初めはね、申し訳ないですけどもやはり先生方の指導の中で議題を設定し、そこでやっているという感じがあったんですけども、この間見させていただいたら、割とフランクにどのグループも上手に話し合っていたし、自分たちのこととして捉えているし、問題もそれに向かってきているということで、ああいうふうなものが繋がって子どもの主体的な動きの中で進められたらいいなと思って、この会は面白くなるなというような感じで私は見させていただきました。このような会が今後も続いていくように願っております。

(教育長)

豊岡北中の生徒会役員が寸劇で表現していた様子を見て、コミュニケーション教育が生きているなと思いました。

他にございますでしょうか。

(鈴木委員)

長かった夏休みも終わりに近づきまして、家で子どもを見ている保護者としては、「ああ、やっと終わる。」と指折り数えているわけですがけれども、今年の夏休みもたくさんの子ども向けの行事イベントを開催していただきました。その中で私の心に残ったものを何点か紹介させていただこうかと思えます。

まず1つ目です。7月にアイティ7階で市民プラザ主催の演劇ワークショップが行われました。これは3日間のワークショップを通して、最終日にグループごとにエチュードというか寸劇を披露するワークショップでした。うちの子は3年目で、もう毎回楽しみに行かせていただいているんですけども、やっぱりさすがが演じることが好きな子どもたちなので、一人一人味があつてすばらしい発表をしておられました。また、リピーターが多いこともあり、年々レベルが上がっているというふうに感じています。普段のコミュニケーション教育の成果かなっているということももちろんですし、これから、そのあり方というか、例えば総合教育会議で話題に挙がっていたと思うんですけども、例えば部活の地域展開の一つとして、特色ある地域クラブで演劇クラブみたいなものもいいんじゃないかなと個人的には思いました。

2つ目です。8月に文化・スポーツ振興課主催の市内吹奏楽部の中高生対象のマーチングで有名な京都橘高校の吹奏楽部との交流会が、総合体育館で行われて、私の息子も参加させていただきました。早速、子どもたちは橘高校の高校生と楽器パートごとに分かれて交流しながら課題曲を練習して、最後に全員で演奏するというような内容だったんですけども、すごく子どもたちに刺激があったというか、最初は恐々参加していた子どもたちが、最後はすごく笑顔で、「先輩方すごかったなあ。」といい感想を述べながら帰ってきたのが印象的でした。担当の方の話を聞かせていただくと、市民会館が使えなくなって、こういった企画をするにあたって、プロの大人よりも身近で、同じ学生という同じ立場の斜め上の先輩との交流はすごく子どもにとって成長になると思うところから橘高校を選ばれたというふうにおっしゃっていました。本当にその通りで、最後のご褒美としてマーチングを目の前で披露していただいて、子どもたち多分初めて、しかも間近で見られる本当にいい機会で、吹奏楽ってただ椅子に座って楽器を演奏するんじゃないんだ、ダンスとかもあるんだなというので、世界が広がったんだろうなと思いました。保護者が見ていてもすごく良かったです。また企画が続いていただけたらなというふうに思いました。

3つ目です。升田委員もおっしゃられたんですけども、中学校生徒会リーダー研修会です。生成AIのガイドラインづくりがテーマで、担当の中学校の生徒たちが主体的に会議の流れを作っていかれたということなんですが、アイスブレイクから始まって、テーマを学び話し合う流れが大変スムーズでした。先生にお伺いしたら、「私はそんなに指導してないんです。子どもたちが自主的に考えて企画をしました。」というふうにおっしゃっていました。本当にすごいなあ、子どもの能力の高さに大変びっくりしました。また他の学校の生徒たちも本当に意見が途切れることなく出ていて、さすが生徒会をされるだけのことはあるなというふうに感心しました。この生徒会の皆さんがこれから体育祭だとか、文化祭など、二学期で活躍されることを願っています。

(教育長)

ありがとうございます。他にございますでしょうか。

(小谷委員)

長い夏も終わり、暑い夏だったなというふうに思っています。その中で県の夏期教育委員研修会に参加をしました。その中の部活動の地域展開の現状と課題という講演を聞かせていただきました。この資料で、学校教育の一環としての中学校部活動はなくなると書いてありました。これを見て、何となく腑に落ちたような感じはしております。ただ、これをそのまま受け取るのではなくて、当日、教育長も言っておられましたけど、豊岡方式じゃないですけど、豊岡としてどうすべきかということを考えていくようなことを触れておられました。ということは、これを基準に考えれば、もう少し整理ができるのかなあとと思いながら、いい研修会だったと思います。教育の一環を本当になくしちゃっていいのかどうかというのは、ちょっと私は疑問だというところは付け加えておきます。

それと先ほどからありました生徒会リーダー研修会。今の子どもさんはすごいと思いながら見させていただきました。その中で最近流行りのＡＩ。ＡＩに踊らされるのではなくて、確認をするというふうなことで、ある程度ガイドラインがまとまっていたんじゃないかなあというふうに思いまして、個人的にもなかなかいい話し合いをされていたんだなというふうに感じました。

(島崎委員)

8月の活動報告ということで、教育フォーラムは、大変良かったです。教育長自らされたというところもより説得力が強まったのではないかなと。演劇というところで、本当に楽しくて、いつも座学でちょっと眠くなる時間でもあるのですが、終始楽しく最後まで参加させていただくことができました。同じく夏季教育委員会の研修会ですけれども、私は、「不登校児童生徒への理解と支援のあり方について」という研修に出ました。「なんで不登校になるんだろう。」という疑問を、この研修でズバッと教えてもらえるんじゃないかという期待をして行ったんですけど、やっぱり答えはなくて、多種多様であってそこを理解しようというような話でした。その中で、居場所がないという話で、「居場所とは何ですか。」「居場所の定義をどう考えられますか。」という質問がされたのですが、すぐに答えが出なかったです。すごく難しくて、講師からは「自分がいても大丈夫な場所」という回答がありました。居場所って使い勝手がいい言葉で皆使いがちですが、どのような意味合いを持つかを考えていけないというふうに考えさせられました。支援のあり方については、本当にいろいろな連携先がありサポートルームができたことが非常に大きいということを講師の方がおっしゃっていました。豊岡市では取組が進んでいて、素晴らしいなと思いました。質問の中では、「ハード面ソフト面どうやって進めていったらいいのか。」という質問されている方がいらっしゃった中で、豊岡市はもうすでにしっかり整備されていて、今後さらに進めていくという段階に入っているというのが、とても素晴らしい状況にあることを改めて感じたところです。

それともう1つ、豊岡市地域福祉計画に、私が所属している「一般社団法人ちいきのて」の代表として参加しています。その中で、計画の策定委員会にあがるまでに各部会でいろいろと議題を揉まれます。豊岡市の創成ファイブと地域福祉をどのように組み合わせるのかという議題がありました。創成ファイブの中には「子育てにやさしいまちへ」というものがあります。子育て

世帯の方が回答者に多く、面白い意見も出てきていたのでぜひ共有させていただけたらと思います。子どもの居場所づくりという意見があり、それを実現するためにはどうしたらいいのかという問いに対しても本当に多種多様な意見が出ていました。自由に遊べる公園の必要性とか、自宅の近くで遊べる場所、しかもこの時期暑すぎるので室内で遊べる場所とか、区にある会館が場所になってさらにそこを大学生とかがサポートしてくれたらいいのになとか、ラジオ体操に頑張っ
て行っても承認されない、地域の繋がりがいいから行っても面白くない、もっと学校が力を入れて欲しいなとか、そういったいろんな意見が出ていました。福祉計画の策定にも参加して思
いますが、地域住民とか企業とか学校、行政と多種多様な協働を進めるという方針があります。
先ほど話があった人材バンクもそうですが、横断的にいろんなことがつながれば人材であるとか
お金のところに関しても、何とか削減ができるのではないかと思います。理想論ではありますが、
いろいろな会に参加して、重なっている部分がありとってももったいないなと思うところがあり
ます。重なりをまとめることでさらに業務が増えてしまうこともあるのかもしれないですが。抽
象的な話になりましたが、横断的な取組が出来たらよいなと思いました。

(教育長)

ありがとうございました。いろいろ考えさせられる内容がたくさんあったと思います。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通じて何かございますでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、次回の教育委員会会議は9月 25 日(金)午後2時から、本庁舎3階庁議室で開催
します。

これをもちまして、第5回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後2時40分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2026年8月27日

教育長

委 員